

## 事業概要シート

施策	1304	畜産業の振興	《 》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	高齢者肉用牛飼育奨励事業	拡充	予算額	1,413 千円
事業期間	昭和51年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	1,413 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

高齢者の健康増進及び生き甲斐づくりとして肉用牛の飼育を奨励し、堆肥を耕地還元する循環型農業の促進を図ることで、農業生産力の増大と大村生まれ長崎和牛のブランド化を推進させるとともに、畜産経営体数を維持し、畜産振興に資することを目的とし、大村市高齢者肉用牛飼育対策協議会会員（60歳以上）の素牛導入に係る経費の補助を行い、協議会への加入促進につなげる。

また、飼料・畜産資材価格の高止まり、特に子牛価格の下落が長期化していることから、繁殖農家の経営状況は厳しくなっている。高齢者の飼養管理技術等を最大限活用することで、繁殖農家の経営力向上を図る。

○繁殖農家

・優良素牛導入促進

市場平均価格以上（上限額600,000円）の優良素牛導入経費の25%補助を行い、協議会への加入を促進（JAながさき県央繁殖牛部会大村支部11戸中、60歳以上の会員9名）

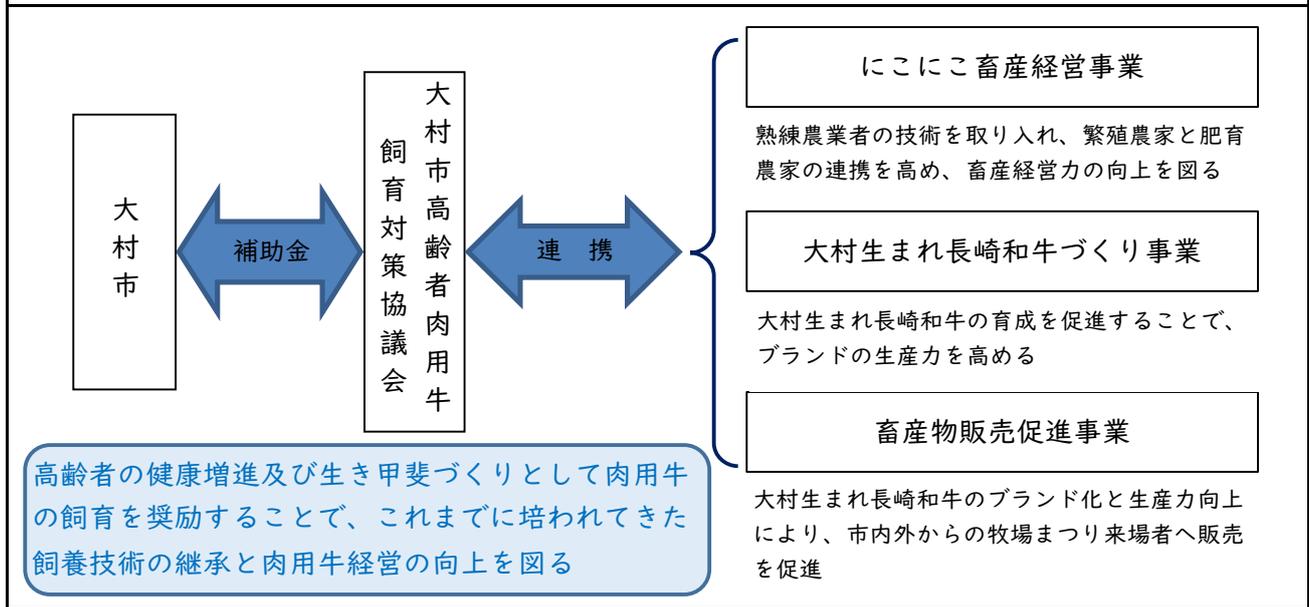
事業費；600,000円×25%×9頭=1,350,000円

○肥育農家

・素牛導入利子補給

牧場まつり出品牛の育成のため、素牛導入に係る借入金（上限700,000円）に対する、利子補給を行う

事業費；700,000円×1.5%×（292日+73日）/365日×6頭=63,000円



**【背景】**

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、牛肉の消費需要の回復が期待されているが、枝肉価格や子牛価格等の依然として下落が続いている。

また、円安の長期化、飼料価格や資材価格の高止まりの継続といった畜産経営に係る問題に加え、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病による脅威もあり、極めて厳しい状況が続いており、畜産経営の安定的な継続対策を講じる必要がある。

担当課	産業振興部 農林水産振興課	課長	岩永 太
担当者	関 将史	問合せ先	0957-53-4111（内線253）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	利子補給対象高齢者肉用牛の導入数	頭	7	7	6	6	6
②	大村生まれ長崎和牛の育成	頭	23	24	24	24	24

### 【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	導入した牛（肥育牛）の枝肉販売価格 （1頭当たり）	千円	1,254	1,375	1,375	1,375	1,375
②	導入した牛（繁殖牛）の子牛販売価格 （1頭当たり）	千円	454	600	600	600	600

### 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	71	62	71	1,413	1,413	1,413	4,443
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	71	62	71	1,413	1,413	1,413	4,443
人件費	945	967	945	945	945	945	5,694
職員(人)	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.78人
時間外勤務(h)	0h	11h	0h	0h	0h	0h	11h
会計年度任用職員(人)	0.00人						
フルコスト	1,016	1,029	1,016	2,358	2,358	2,358	10,137

妥当性 (市の関与)	畜産の存続を図るには、畜産業の維持により、高齢者に蓄積された飼育技術を後継者・担い手へと継承する機会を作る必要がある。このため、高齢者が元気で生き甲斐となるような施策を通して、本市の畜産振興に繋げるには、今後も継続した市の関与が必要である。
有効性 (施策貢献度)	本市畜産農家の飼育技術は、長崎県でも高いレベルにあり、その要因は高齢者の技術に寄るところが大きい。特に肥育農家は、長崎県央地域でもトップレベルにあり、H29年度に開催された全国和牛能力共進会においても入賞するなど、本市の畜産振興に大きく貢献している。
効率性 (コスト)	必要最小限度のコストであり、削減の余地はない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり